

出血性膀胱炎への対処法

出血性膀胱炎とは出血を伴って発症する膀胱の炎症で、ウイルス、細菌薬剤、放射線などが原因になります。薬剤性の多くは抗がん薬（エンドキサン、イホマイド）で見られます。

1) 原因

抗がん薬（エンドキサン、イホマイド）は体内に入るといろいろな形に代謝され、最終的には尿とともに体外に排泄されます。尿中では、膀胱粘膜を傷つけやすい物質に変化しており、出血性膀胱炎を起こします。

2) 出血性膀胱炎の症状

- ・ 尿の回数が増える（頻尿）
- ・ 排尿後もまだ残っている感じがする（残尿感）
- ・ 排尿時、痛みがある（排尿時痛）
- ・ 尿が赤みを帯びている（血液が混ざる）



3) 出血性膀胱炎の予防方法

- ・ 膀胱内を洗い流すために、十分な水分（1日2リットル位）を摂取して下さい。特に 点滴当日から3日間 は必ず実行して下さい。
- ・ 薬剤が早く排泄されるよう、尿意を感じたら我慢せず、すぐに排尿して下さい。
- ・ 寝る前は必ず排尿し、夜間も尿意を感じたら我慢せず、排尿して下さい。

《注意》

エピルピシン、ドキシソルピシンという薬剤を使用した場合、点滴直後から2~3日の間、尿の色は赤みを帯びています。これは薬剤の色で出血ではありません。

ただし、上記2)の症状がある場合は、病院に連絡して下さい。

